四十七

217

第十四号

臨時報告

七月廿三日

一午前〇時三十分着大島公使より電報

計畫ノ通リ実行セリ

一午前四時各隊ハ昨日ノ計畫ノ通リ運動ヲ始ム

旅団長ハ京城ニ侵館ニ入リ西島歩兵中佐ハ朱団代理セシアル

一午前四時半韓兵発砲セルヲ以テ我モ応射ス戦始マル

一午前六時三十分着一戸少佐より

戦闘地より帰来ノ人ノ言ヒ我隊ノ配備前五時頃全リ

終リ五時十分頃完成ハ侵入セリト云フ

一午前五時四十分竜山司令部ハ留守ナル西島中佐ニ戦始

メリト電報ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一午前五時五十分着武田中佐より
四時四十七分迎秋門ヲ破壊スルモ爆量不足ニシテ破レス
尚破壊ノ為メ少キ時間ヲ要ス
一午前六時五十分西島中佐、韓兵逃タ銃五十名捕ヘト電
報ス
一午前八時二十分着武田中佐より
親軍壮衛内ニテ二百四十五挺火縄銃二百十四挺
大砲九門野砲六門（其他武器種々）集ニ置キ兵卒
三百名ヲ追出セリ
一午前八時四十分西島中佐、各捕獲武器運搬ノ為メ各隊
ノ騎卒ニ士官ヲ付シ王城内ニ送リ武田中佐ノ指揮ヲ受
ケシム右電報
一午前九時竜山ニ残セシ西島中佐より当地、孔德里及竜山

2/8

事件ニ付諸部ノ警戒ハ充分ナリ（七時十五分出）

一午前九時十分第六中隊豫備一等卒早山岩吉戰死ノ旨武田中佐ヨリ報告

一午前九時十分着武田中佐ヨリ癸丑雍和門報告

唯今國王ヲ拝謁王ハ雍和門ニ在リ

支那人ノ所施銃ノ種類員数ハ目下取調中ナリ

敵ノ死傷ハ五六名了

第六中隊ヲ豫備兵一名死下士一傷第三中隊ノ死傷ハ不明ナリ

一午前第十時情況視察ニ出ヒン平城騎兵少尉ノ報告

七日ニ言義城王宮附近ニ於ケル情況偵察ノ報告

本日午前四時四十九分歩兵第四聯隊ノ一部ハ迎秋門ニ到着

第三中隊ヲ王宮ノ西方ヨリ第六中隊ヲ王宮ノ東方ヨリ王宮

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

背後ヨリ迫撃セントスルヤ朝鮮兵ハ射撃ヲ始メタルヲ以テ猶一中隊ヲ
増加シ之ニ向テ射撃ヲ始メタリ是ト同時ニ迎秋門ヨリシ一部ハ
門ヲ破壊シ王宮内ニ侵シ猶本隊大隊ノ一部モ光化門左側
ノ壮衛營ヲ襲ヒ内外相應シテ喊喊セリ
是ニ於テ此衛營及ヒ王宮内ノ兵ハ尽ク武器ヲ棄テ逃走
セリ先ニ我ニ向テ射撃シタルモノハ白兵方向ニ逃走シ猶本
王宮北方ノ村落内ニ両三名宛埋伏シ我斥候等ノ来ルヲ見
ハ直チニ出テ射撃ヲ行ヒ然レトモ王宮各門ハ已ニ我手ニ
落チ是ニ歩哨ヲ配布セリ
午前四時半ニ朝鮮國外務督弁王宮内ヨリ出ヲ来テ
我公使館ニ至ント称スルヲ以テ之ニ護衛兵ヲ付シテ公使館ニ
送ル
午前五時四十分右摂政王宮ニ来リ是ニ於テ王ノ所在ヲ詰

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

問し嚮導セシメんと雍和門（義和門なり）に至り武器を発見
次第没収セントス國王出テ来リ之レヲ制シ曰ク日本公使館ヘ
向テ外務省ヲ遣セリ故ニ返還スル迄猶豫アランコトヲ願ヒ
遂ニ武器ハ没収セラルトセリ（其員数ハ取調中なり）和兵ヲ以
テ國王ヲ護衛シ大ニ之ヲ慰ムるなり
午前六時二十分射撃モ殆ト止ミタルヲ以テ六時廿分公使館ヘ
帰還報告セリ
備考　吐衛営ニハ銃（スペンセル火縄銃混合）及ヒ刀剣各
数百前装黄銅砲約十門後装砲（多分ラルソップ
山砲なり）六門皆我手ニ帰ス又王宮内ノ武器
モ大約我手ニ帰セリ
一午前十時武器中止ス
各国ノ公使ハ先ツ王城ニ入レタルヲ付キテ英語ノ通

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

年ヲ過サレタシ

一午前十時半着武田中佐ヨリ奪ヒシ武器多ク（各營及
王宮ニ於テ）ヲ困ム

一午前十時半武田中佐ヨリ
各國公使又ハ米歐人等ヨリ入城ヲモトメハ入レヲ宜シ中越外交
上ニ関シ但シ公使ノ命ヲ受ケタル可然若ヲ派遣セラレタシ
目下ハ西洋人等ヲ入ルナシ又國王ノ側ニアル漢兵二十人等名モ
出スヲ禁シタリ

右何分ノ命ヲ待ツ

一午前十時半着武田中佐ヨリ
通行積人ノ義紅頭ヲ着業上可シトノ旨ヲ充化門ヲ除外
閉鎖ヲ之警戒ト又洋人等ニ対シ開通ヲ達スル多ク
一午前十時四十五分着於鐘臺傍（十時三十分発）橋本少佐

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

報告

午後十時過迎春門ヨリ大院君王宮ニ入ラレタリ

一午後十一時武田中佐ヨリモ同ノ報告アリ

一午後一時半武田中佐ヨリ歐人二名入宮國王ノ居室外迄

誘導セリ

今朝第六中隊ノ進路ニ向テ射撃シタル韓兵二名負傷

若シ治療第三中隊ノ進路ヲ妨ケタル韓兵一名即死他三名

即死者アリトノ

我兵ハ過刻報告セシ通リ一名即死一名ハ極メテ軽傷ナリ

韓人ノ咄シニ牙山ノ清兵今朝水原ヲ通過セントスルヲ此報ハ過

日牙山ヘ韓廷ヨリ馬ヲ送リタルモノ帰リ報スト一例ノ虚説カ

白岳ノ南鉢面及ビ頂上ニ韓兵約十名敵在第六中隊ニ向

ニ時ヒ射撃スルヲ止ム我兵モ三発ニ一発位應射セリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

（王宮ニ入ル婦人ノ住所ヲ通シテ又ハ便宜ノ手札ヲ持チテ来ル入宮ノ日アリ）大島公使退宮ヲ直ニ時ニシテ可成入宮セシメシト云フ

先ヅ門内ニ積集シタル武器ハ運搬済延是親軍営ノ武器弾薬運搬ニ掛リ其後宮殿ノ運搬ニ掛ル考ヘリ

一午後一時五十分発砲鳴中佐ノ許ヘ立ノ竜坂ヲ発ス

七時半分戦闘全ク已ミ分捕リ大砲十五門ヲ鹵獲ス

以上ヨリ我兵死者二名（一名ノ誤リナシ）傷者一名アリ

十一時頃大院君大闕ニ入ル

一午後五時半旅団長参謀副官王宮ニ入リ拝謁セシ

ヲ慰ス

一午後九時旅団長帰団セラル

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

221

本日旅順攻撃ニ於テ留守中ノ記事

一午前五時第三大隊松本少佐ヲ指揮官トシ白玉山ノ敵ヲ攻撃ス

城ヲ去リ三発ノ銃声ヲ聞ク五時十五分新城（基隆）

ノ方向ニ当ツテ突喊ノ声ヲ聞ク（第三大隊ハ嘉隆地北方高地ヲ占ム）

一午前五時十五分受五時半出松本少佐ヲ基隆ノ福宮内ニ

ヲ戦闘ノ起ルヲ見ル

一午前六時一小隊（歩兵第十一旅隊）ヲ倉庫ニ出シ置ク病院

倉庫兵站監部ノ衛兵ノ如キ

一午前六時半城大鳴ル小将ヲ戦ヲ始メタルノ電報ヲ

一午前六時十分永田砲兵少佐ヲ五時四十分成香丁発報告

午前五時頃ヲ時々銃声ヲ聞ク

午前五時十分銃声最モ劇敵王宮ノ東北ハ我兵尺ヲ占

領スルニ至ル如シ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

今尚ホ銃火盛ナリ

砲兵陣地ヲ占領シアリ（歩兵第五聯隊ノ壽隆ノ東北高地）

一午前六時五分着同四十分出鐘ヲ堂ノ傍（南大門道ト東西大道ノ交叉点ノ辺）橋本少佐ヨリ報告

午前五時三分墓ノ福宮ニ向テ銃声ヲ聞ク

同三分人分第五中隊斥候ノ報告ニ曰ク王宮ノ后方ヲ東北聯隊ノ一中隊王宮ニ入リ居モノヽ戦争ナシト云フ

王宮ノ西門ヲ同聯隊ノ二個中隊ハ入ルヲ見ル

一午前七時後一戸少佐ヨリ昨日ノ報告（二三日午後四時五分出）

今朝ノ処置ヲ二日午後七時各中隊長ヲ集メ命令セリ乃チ

第三中隊ハ東大門ト光熙門ヲ占ム第四中隊ハ東北門ヲ

右ノ国王及朝鮮兵ノ兵器ヲ持シテ先ヲ替ス第三中隊ハ二

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

222

時幕營ヲ発スヘシ

第二中隊ハ明朝四時城ニ集合シ大ニ訓令候ヲ東大門ヲ鐘樓以南ノ市街ヲ日本居留地

第一中隊ハ午前四時城ニ集合シ公使他出ノ際之カ護衛ト任ス

注意

韓兵ニ対シ我ヲ衝突スル勉メテ之ヲ避ケシム

外國人（支那人ヲ除ク）城外ニ出ントスル者アリ我兵ノ接護ヲ乞フ者アリ危害ナキ地ニテ之レヲ護送スヘシ

開化黨ニシテ我兵ノ救助ヲ乞フモノアレハ作候ホ之ヲ救フヘシ

各隊ニハ予ノ秘ス所ノ外更ニ左ノ命令アリ

各隊本部警急合營明早朝行軍ヲ行フ服

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

装ハ皆裏ヲ脱シ各員袋ヲ用ユ

行李及皆裏ハ何時ニテモ地ニ運送シ得ル如クス

本日午後二時第今井中尉ヲ南大門ニ乃石少尉ヲ

西大門ニ派遣ス兵員下隊ト輜重者大工一名通弁一名

宛其任務ハ外ヲ乗ン我軍隊ノ障碍ヲ城門ヲ

通過セシムル為ナリ

一春ノ時五十分旅団長ヲ分捕武器運搬ノ為メ各隊ノ

輜重ヲ送ハ中電報アリ

直チニ各隊ノ兵ヲ集メ中西少尉ヲ付シテ城ニ送ハ中ヲ今ヲ

一午前十時半分発永田砲兵少佐松本歩兵少佐ニ籠城ノ

信地ヲ占定セシム

一午后一時五十分着七時四十分戦闘全ク止ニ先ト旅団

長ヲ尾坂アリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

223

六時四分ノ武器弾薬ハ多数ニシテ之ヲ送リシ
輸卒ノミニテ（二百四十名）到底右足ノ様子ナレバ
更ニ兵站監部ニ五十名ノ人夫ヲ即刻病院人夫及
衛生隊ノ人員ヲ出シテ軍運搬ニ従事セシメ命ス
一午後三時私本ハ佐ヲ二時五十五分我工兵隊ノ方向ニ
当リ三四回ノ一斉射撃ヲ聞ク昨今候ニテ情況頗
寥中ナリ
一午后四時十七分高三時二十四分出橋本大佐ヨリ報告
第三時第親軍統監堂ニ入リ吾若巨多ヲ押収
其部隊ニ我ノ財産ヲ奪ハレタル者ノ部分ヲ殺ヲシ傷者
ヲ使ハ走ノ北ニ向ヲテ逃走ヲ其人員二百名余
ナリ
施三門其他ヲ銃弾薬類多ク

一午后六時半ヲ第五師団参謀長ヲ補充員ト武器及追送品ノ義ニ付沿送第一三九号五師発第一〇号ヲ中達ス

一午后六時三十分蕭金山ニ於テ屯営大尉ヲ報告七月五日発

第一電源加設支隊本日ヲ以テ加設蕭手ニ付第二大本営ノ訓令ニ依リ一小隊ヲ残シ大部尚海ヲ経テ速ニ出発ス

下中尉今日帰蕭セシニ付当地ニ残留セシム

一大本営副官ヲ以テ中午四倉之助本職并ニ大本営海軍参謀免セラレ 樺山海軍中将海軍ニ合部長大本営海軍参謀被仰付

日韓金話及文禄壁長日韓役各六百部宛送付シ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

来ル

一午後六時三十分清兵沿岸監視ヲ（七月十四日付）衛生隊長
官ノ意見ニ依リ開時日射病豫防ノ為メ約一尺巡ス
白手巾支給ニ依リ後頭掩護スヘキヲ部下ヘ
訓示ス此旨申来ル（発第二四号）

一午后六時三十分略第一二〇号ニテ大生大本営副官
ヨリ左ノ命令ヲ送付シ来ル

混成旅団長ヨリ第令

一電線架設ニ付キ近第二電線架設支隊ヲ
責任ノ人令下ス

一午后八時半ニ福島中佐ヨリ大院君島守備兵
増加ノ申来ル不必要ト認ム旨返電ス

一午后八時四十分発福島中佐ヨリ電報

砲隊最寄ノ通信所ヲ各陸ニ関ル

天候雨

本日分捕ラシ大砲諸種三十門ハ明日品川砲
台ノ外山砲輸出之ハ有ノ外ノ外

小銃モーゼルレミントン千二百五十挺

金銀其他火縄銃無数

軍馬十余頭

以上這ノ為ノ右陸ノ騎卒及人夫等二次ノ騎送
子シテ年元十時ニ至ル迄騎送ヲ以テ一貫数ハ
尚調査中ニテ確実ノ数ニ非ス

右及報告候也

明治廿七年七月廿日

225

混成旅團長大隈義昌

參謀長磯江親五殿

1480

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/